

羊ヶ丘養護園安全委員会だより

☆安全委員会開設11周年記念号☆

羊ヶ丘養護園VOL.49
令和4年1月31日
発行者 蓼田・川本

令和3年12月10日(金)羊ヶ丘養護園安全委員会開設11周年記念集会を行ないました。2020年から世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルスの流行拡大に伴い、当園でも感染症対策として昨年は外部安全委員の先生方からのメッセージを基に記念集会を行ないました。今回は流行が落ち着いたこともあり、消毒と換気を行ないながら、澤委員長を始め副委員長代理の札幌市児童相談所細江係長、羊ヶ丘小校長高田委員、東月寒中校長越田委員をお迎えして記念集会を行う事が出来ました。

今回のテーマは新任職員がアイデアを出し合って「みんなで創る安心・安全、みんなで育てる笑顔と未来」をテーマに、今ある生活を見つめなおして改めて安心・安全の大切さを考え、笑顔の絶えない生活を未来に引き継いでいきたいという思いが込められています。

コロナ禍で学校へ行くことも部活や遊びに行くことも自粛され、ストレスがたまる生活中でも暴力をしないように心掛けて行って欲しい、ストレスを上手く発散しながら楽しく、笑顔で過ごしていくようにみんなで頑張っていきたいと思います。



委員の皆さまからのメッセージ

澤委員長：(写真壇上左から2人目)

ご挨拶の冒頭では、昨年の非対面で実施された記念集会を踏まえて、今回の11周年記念集会は養護園の皆さんと対面で集会が出来た事を嬉しく思いますとのお言葉を頂きました。また、コロナ禍でのストレスある生活が続いている中、段々と足踏みが揃わなくなることもあります、ここをぐっとこらえ、安心安全を守っていく為にこれからも一緒に頑張っていけたら良いですねと養護園の皆さんを気遣うメッセージに職員、児童一同頬がほころびました。

ちなみに今回のポスターについても「安心安全を守りたい」という思いが伝わってくる素晴らしいポスターですね」とお褒めの言葉を頂いております。ありがとうございます澤委員長！！

副委員長・札幌市児童相談所

ご公務の為欠席された宮本課長の代理として、児童相談所から今回は細江係長(写真壇上左端)がご挨拶をされました。「暴力を使わないで人間関係を形成したり、問題の解決に向かえるように勉強して欲しい」という言葉の中には、子どもたちの入所から退所までを見守り続けてくれている児童相談所さんならではの想いと、子ども達が大人になり、社会へ自立していく為に必要なエッセンスが沢山ありました。これからも安全委員会活動を通じ沢山成長していきたいと思いました。



(11周年記念集会の様子)

羊ヶ丘小学校長 高田委員：(写真壇上左から3人目)

高田校長先生は養護園の皆さんが幸せになれる事を願って、生活の中で感じる様々な感情と向き合い、どのように自己実現していくのか。その方法を教えてくれました。「1つ目は笑顔でいる事、笑顔でいると笑顔のお友達が集まります。2つ目、ありがとうの言葉を大切にすること、言う方も言われた方もとっても嬉しい気持ちになります。3つ目は自分のことは自分でしっかり考えて自分で決めるということ・・・」どれも生きていく上で大切にしていきたい考え方でした。

東月寒中学校長 越田委員：(写真壇上右端)

日本ハムファイターズのBIG BOSS、新庄監督の言葉「地味な練習を楽しみながらコツコツやれる人間になろうよ」を引用し、積み上げていく事の価値について教えてくれました。

継続する事の難しさにも触れつつ、「出来る様になった時にはもっとワクワクする事が増え、最終的には皆の笑顔に繋がることなので、日々コツコツやらなければならぬ事が沢山あると思うが、楽しみながら頑張って取り組んで下さい」との励ましの

お言葉を頂きました。是非皆で暴力の無い笑顔あふれる生活を創って行きましょう。



(11周年記念集会ポスター)

児童・職員より 意見表明



養護園安全委員会11周年記念集会

河野君

(堂々と発表する河野君)

コロナ禍の為、今年の集会も児童、職員1名ずつの発表でした。

高3の河野君はこれまでの養護園の生活を振り返り、「暴力を振るい、いっぱい失敗もしてきたけれどその都度園の先生方や安全委員会の委員の皆様から多くの事を教えて頂いた。僕は安全委員会にとてもお世話になった。」と語っていました。そして園の子どもたちに向かい「年上の人方が何もしないからといって調子に乗るな。(暴力がいけないことだから)皆我慢しているんだぞ。そのうち皆にも後輩が出来たら分かるけど、皆で気遣いできる出来るようになろう。」と彼らしい言葉で伝えてくれました。集会にはかつて彼の暴力の被害にあった児童も多く出席していました。しかしそれでも今回この大役を引き受け、臆することなく自身の想いや学びを発表出来た彼の勇気と成長ぶりに心を揺さぶられた人は少なくないでしょう。4月からは晴れて社会人となる河野君。安全委員会で学んだ事を仕事でも活かし、今度は社会で信用を得られるように頑張っていって欲しいですね。

一方、職員代表の千葉先生は今年入職した新人職員です。もちろん安全委員会のことなど学生時代聞いたこともなく、「はばたき」という幼児から小学校低学年男子が生活するユニットで日々児童のトラブル解決に奮闘しながら学びを深めてきました。千葉先生は「叩くな口で言う」「優しく言う」「たとえ相手が悪くても叩かない」という安全委員会の3つの約束を守り、正しくトラブルを解決してきたことで少しづつではあるがユニットの生活が落ち着いてきた。これからも自分達を支えてくれるユニット内外の人たちや子どもたちと力を合わせて「暴力をするな させるな羊ヶ丘」に向けて頑張っていきたいとの想いを発表してくれました。まさに臨床から学ぶ安全委員会を体現してくれている千葉先生のフレッシュな活躍に今後も大いに期待したいです。



みんなの意見表明～当日ご紹介できなかった分、すべて乗せちゃいます～

スズラン

私は日頃、小学生に苛々しています。先生の話を聞かなかったりユニットの子の言うことを聞かなくて苛々しています。それでも我慢して頑張っています。

中2 T・M

嫌な事は全部先生に言う。先生に相談する。皆で安全委員会をしないように頑張ろう。

小2 I・K

私は入所したばかりでまだ安全委員会をしたことがないので、これからも友達に暴力と暴言を言わないで、安全委員会0を目指したいです

小4 S・K

私は今年高校生になりました。ユニットの中でも最年長となり、年下の子達も増えました。生活していく上で苛々を感じることもありますが、言葉を選んで優しく伝えることを心がけています。穏やかに楽しく皆で過ごせたらいいです。これからもこれを維持して暴力・暴言なく過ごし、学校生活にも前向きに励んでいきたいと思います。遊びと勉強の両立を上手にこなし、自分の時間も大切にしていきたいです。

高1 T・T

私は安全委員会をしたことがないで、悪口や暴力を絶対にしないことを目指します。他にも、友達に暴力をしないです。

中2 O・N



ライラック

暴力されたらいに嫌だから人にやらないように気を付ける。やなことがあったら口で言う。

小5 I・Y

私は喧嘩をしない為に、仲良く遊んでいます。これからも仲良く遊びます。

小4 W・Y

暴力しないよう頑張っています。なので一回も安全委員会をしていません。

17歳 A・A

これからも暴力をしないで、口で言うことを頑張っていきます。

高2 T・E

暴力をしたら相手が怪我をするので、嫌なことがあったら口で言う。

小4 K・A

暴力をないです。

小6 M・S

私は暴力をしないように気を付けている事は思ったことを伝える事です。これからも暴力をしないように頑張ります。

中1 W・M



かがやき

私は叩く、蹴ることは良くないと 思います。私は絶対にしません。

6歳 S・Y



はばたき

僕は相手に嫌な事をされたときに、自分も叩いたり蹴ったり暴力をしてしまわないように気を付けていきたいです。暴力をされたら痛いし、はばたきでの生活が怖くなるからです。これから、みんなで楽しくお出かけしたり、仲良く遊ぶことが出来るはばたきにしたいです。

小2 I・R

僕はこれからも安全委員会のお約束3つを守るようにします。また僕は怒った時に物に当たりイライラした相手に投げてしまうので、これからは物に当たらないようにしたいです。はばたきでこれからも色々な所に行ったり、楽しい事が沢山したいので暴力をしてしまわないように気を付けて生活していきたいと思っています。

小1 Y・R



僕は誰かに嫌な事をされて自分が怒ってもこれからは暴力をしないようにしたいです。また、僕は起こった時に物に当たり物を投げてしまうことがあるので、それもしないように気を付けたいです。僕はいつも嫌な事があったら部屋に行くようにしています。それは、イライラした相手を叩いたり蹴ったりしてしまうからです。これからは楽しいはばたきでの生活になる様に暴力などしないように頑張りたいです。

小2 I・R

僕は養護園にきて、初めて安全委員会を知りました。僕も誰かに叩かれたりいじわるな事を言われたらいやな気持になるので、同じことをしないようにしたいです。そして誰もいなくなった、嫌な事や暴力をされたときには、「やめて」と言うようにします、毎日怒ってうるさくしないで、みんなが優しい子になると安心できると思います。そして困った時には、近くの先生に言うようにしていきます。

小1 K・R



ポフラ

暴力する前に、離れるなどの対策をして抑えるように頑張ります。

中3 H・T

暴力を振わず、今年は受験生なので志望校に合格できるよう頑張りたい。

中3 K・H

喧嘩をしない為に、サッカーの練習時間を増やします。

中2 T・H

すぐにムカつかない、ムカついたとしても我慢する、喧嘩をしない、殴ったりしない、蹴ったりしない、この5つを守って生活します。

中2 H・K

僕はムカつきやすいので、すぐにムカつかなく、暴力を振わない、ケンカしない、殴らない、蹴らない、すぐに障がいって言わない、このことを守って生活します。

小6 T・M

僕は睡眠時間をしっかりとって、イラつかないようにすることをこれからも続けていきたいと思います。

小6 T・A

僕は今高校三年生ですが、安全委員会は小一の時に創設されました。最初はなぜあるのか、本当に必要なのかと疑問に思っていました。しかし自分が高学年になっていくと安全委員会の大切さが分かってきました。自分は手を出すではなく口で止めたりしていました。また、安全委員会に守られたこともあります。まだ小さい子達は安全委員会の大切さを知らないと思います。自分は来年から大学生になり、先生が止めてくれるということも無くなってくるので小さい子達には園にいるうちに大切さを知ってもらいたいです。

高3 N・T



ナナカマド

僕は今年度、何度か暴力をして安全委員会で注意をされたので、来年度は暴力をしない事は勿論、養護園の最年長として年下の喧嘩を止めてあげられるよう頑張ります。

高2 A・K

色々な子の見本になれるように、暴言を言わない、暴力を振わないなどのことを今まで通り、しっかりと徹底していきたいと思います。

中1 O・R

嫌な事があっても暴れないで皆と仲良く生活できるように頑張る。

小6 O・R



去年に比べて暴力の数がかなり減ったと思います。これからもこの調子で暴力をしないよう意識しながら生活したいと思います。

高1 O・Y

自分は将来一流のプロサッカー選手になりたいので、生活の中で嫌な事があっても暴力を振れないよう頑張ります。

中2 K・R

進路があるので嫌な事があったり、ちよつかいされることもあるけど、我慢して叩くな口で言うを実践しています。これからも頑張りたいです。

中3 A・Y

僕は3月で退所です。社会に出てから暴力などして問題を起こしてしまうとテレビデビューを果たし一躍有名人になります。こんな形で有名人になりたくないです。なので、安全委員会の3つの約束をしっかりと心に刻んでいきたいです。

高3 E・K

きよた

イライラしたら部屋に行く、嫌な事があったら先生に言うようにしています。
小5 N・A

嫌な事があったらクールダウンをする。
中1 K・K

相手が嫌だと思う事を言わずに、もし嫌な事を言われても暴力をせず言葉で解決する。
中1 Y・K

自分は人と余り関わっていないので、トラブルとかがないから、他の人も自分の時間をつくったり距離感を持って生活したらいいと思います。
高1 S・K

きよたのみんなで交流している時に、年上の人があおったり、逆に年下の人が年上の人をあおったりして喧嘩をすることがあります。さらに、自分より年下の人もしくは、同じ年の人をよく指図したり、嫌がらせをしたりもしています。これらに対し自分は何をやって良いか、何をしたらダメか、考えてほしいなと思います。
中3 O・M

イライラしたら部屋に行く。
言葉つかいを直すようにしています。
小1 T・Y

白樺

暴力や暴言をしないように気をつける。ときどき私はイライラして当たってしまうことがあるので気をつけたいと思います。
中3 M・R

私は、あまり得意じゃない人とかに、嫌な態度を取ったり嫌な顔をしてしまうことが良くあるので気を付けていきたいです。他にもテレビを見てたりして周りの人がうるさくて嫌な時は、嫌な言い方をしないで普通に言えるようにしたいです。
中2 S・M

私は2歳の時に養護園に来ました。ここで生活し始めてから今年で16年目になります。安全委員会が出来たのは、私が年長の時です。安全委員会が無かったころ、苦しい思いを沢山していました。毎年年上の子から、理由もなく殴ったり、叩かれたりしました。先生に言おうとすると、ハサミを持ってきて「目をくりぬくぞ」と何度も脅されました。暴力や暴言が「悪い」ことだと分からず子も多く、大きい子達に怯える生活が当たり前でした。そんな時、安全委員会ができました。できてすぐ暴力、暴言が収まっていることはありませんでしたが5年、10年とやっていくうちに、気付いたら暴言、暴力のない生活が、今当たり前になっていました。養護園の生活で嫌な思い出より楽しい思い出が多いのは、安全委員会のおかげだと私は思っています。卒園しても、この先もずっと「暴言、暴力のない生活」を保っていこうと思います。
高3 S・J

昔、安全委員会が出来る前は養護園では喧嘩や暴力が絶えない毎日でした。私も昔は暴力を振れたりする事や悪口を言われるのが日常だったのでこの日常が普通だと思っていました。だけど、安全委員会ができるから暴力や暴言が減り、とても楽しい毎になりました。私が過ごしている白樺では毎年、暴力を起こすことはしておりません。これからも安全委員会を開く事のないようにしたいと思います。
高3 T・H

新任の先生方の意見表明～安全委員会一年目に懸ける想い～

私は今年度から羊ヶ丘養護園に就職し安全委員会方式を知りました。安全委員会方式とは何だろうと思っていましたが、安全委員会課の活動や、実際に自分自身が安全委員会を目の当たりにし、職員が介入する事で双方の気持ち、意見の整理をして客観的に見つめ直す大切なことであると思いました。たとえどんな理由であっても暴力は許される事ではなくやられた側に大きな心の傷や体に傷をつけてしまう行為で、やってしまった側にしっかりと暴力の重大さを伝え解決に導く一つの指導方法であると思いました。11周年という今までの先輩職員の方々が築き上げてきた枠組みをしっかりと受け継ぎ児童監護にあたりたいと思います。

職員 一戸京華

新任職員として羊ヶ丘養護園で働いてから半年が経ちました。安全委員会の仕組みを知り、実際に安全委員会の場に立ち会ったことも何度かありました。何かトラブルが起きたとき、暴力、暴言をしなくとも解決できること、それを自分の力でやっていける力を教えてあげられるよう、子ども達に関わりケアをしていきたいです。
職員 松田

安全委員会について理解しきれていない部分もあると思いますが、常に子ども達が「安心・安全」と感じることができるよう、生活のケアをして行きたいと思います。
職員 宮崎

ライラックでは暴力は起きないが子ども達の感情に波があり、気持ちを自分自身でコントロールすることが難しい子もいます。自室に入りクールダウンすること・一度外に出て気分転換する子など子どもなりの気分を落ち着かせる方法をとっている場合もありますが、周りの子や職員にイライラを当たっている場合も見られます。そのような姿が見られた場合、一度様子を見て落ち着くのを待ち、後に何気ない会話の中で「何かあった？」と振り返りを行ない、話を聞いています。また、中々イライラが収まらず周りの人に八つ当たりが続いている場合は、別室で話を聞くことを提案し、話を聞くと八つ当たりをしてはいけない事、周りの子がどのような気持ちになるかを話し、その子に合った気分転換の方法を提案して見たりして一緒に考えていきたいです。今後もみんなが暴力なく安全に生活出来る様支援していきたいです。
職員 森田

私が安全委員会方式で知っていることは少ないと感じます。新任研修や先輩職員からのSVを受けることで知識を得ることは出来ますが、実際に安全委員会方式での対応をしたことはほとんど無いからです。ですが子ども達が生活している中で、暴力をしないように意識をしたり我慢をしたりする場面を見ることは多くあります、また、私からクールダウンの方法を子どもに伝えることや、子どもから「練習付き合ってあげる」と安全委員会の三つの約束を私が覚えられるように、一緒に練習してくれた子など入職して9ヶ月で暴力をしないように一緒に考えることが多くあったと思います。これから子どもたちと一緒に教え合いながら、紡織路向き合って過ごしていきたいです。また、私自身子ども達が安全で安心な生活を送る事が出来るよう、良い生活の場を作っていきたいです。
職員 千田

今のかがやきユニットでは安全委員会が行われる機会はありませんが、日常的に子どもの間での手や足の出る喧嘩が絶えません。また、子どもから職員への暴力も度々見られています。来年は、ばたきユニットへ移動することになるであろう子ども達もあり、今の現状ではばたきユニットへ移動することを考えると正直とても不安です。ですので、今のうちから安全委員会の3つの約束と安全委員会を開くことがなくても暴力は絶対にダメなことであるということをしっかりと伝えたいです。
職員 吉田

子ども達と楽しく過ごすプラスの時間をたくさん作りたいです。暴力が起きた際には複数の職員で対応することが大切であり、私自身もその一員として適切な対応ができるよう学んでいきたいと思っています。
職員 菅原

私自身かがやきの児童さんと関わっている上で安全委員会対応を行ったことがなく、安全委員会、安全委員会方式について理解できていない部分があるため、しっかり安全委員会方式について学んでいきたいです。かがやきさんはまだ安全委員会は行わないが、言葉で言わずに叩く・つねる・噛む等の喧嘩が日常生活の中で多々あるため、児童さんでも分かりやすいよう、絵・絵本等を使いながら暴力はいけないことをわかるよう日頃から気にして関わって行きたいです。
職員 高崎

羊ヶ丘養護園に入社してから「安全委員会方式」という言葉に出会い、それが何なのかを新任研修で学びました。言葉だけではあまりピンと来ていなかったのですが、働いている中で安全委員会方式を取り入れる指導に立ち会った際に周りの先輩達がどの様な言葉でどの様な指導をしているのかを目で見て安全委員会方式について学ぶことは沢山あると感じました。被害者側と加害者側の児童へのアプローチの仕方をこれからも学んでいき、お互いの気持ちを受け止め、子どもたちが気持ちよく安心安全な生活を送っていける場を作っていきたいです。
職員 中谷

後書き

今回外部委員の皆様と対面で行なう記念集会はコロナ感染症拡大の影響を受け、実に2年ぶりでした。その間に入所児童や職員は入れ替わりがあり、外部委員の先生たちも交代したことによって、お互いにどこか実感の湧かないままに安全委員会活動を継続していく感が否めなかったのですが、今回、外部の委員の皆様をお招きして記念集会を実施出来たことで、子どもたちも職員も、当園の安全委員会活動がより身近に感じられるきっかけになったのではないかと思います。今後も外部委員の先生たちと力を合わせながら、職員と子どもたちが一丸となり施設から暴力を無くし、「安心で安全な生活」を作っていくように頑張っていきたいと思います。

安全委員会課